

資源環境経済学特別演習Ⅱ 議事録
2017年度 第8回

報告題名 (title) : 農村女性起業の経営継続性について—先進事例調査を通じて—	
報告者 (name)	トウ カンエン
日時	12月21日 午後3時～
所属分野 (labo)	農業経営経済学分野
場所	第5講義室
座長	長尾
議事録担当者	古屋
出席者 井元、米澤、伊藤 (房)、伊藤 (航)、石塚、木暮、辻、古屋、長尾、熊谷、王 (聡)、唐、楊、大山、鄒	
<p>報告要旨 (Abstract)</p> <p>男女共同参画社会に向かう女性活躍推進施策の影響によって、社会全体の就業率から働く女性の活躍が見えてきたが、農村地域においては女性の「農業離れ」が問題として指摘されている。</p> <p>農業の魅力を感じさせ、女性の経済的自立と社会的地位向上を目指す上で一つの有効手段として、「農村女性起業」が取り上げられた。「農村女性起業」とは、農村在住の女性を中心となって行う農林漁業関連起業活動であり、農林水産省の「農村女性による起業活動実態調査」からみると、女性起業数が年々増加し、起業活動による女性の活躍推進が期待されている。その上、農村女性起業活動は女性の力を活かすことによって、農業経営多角化や地域活性化にも結び付けると評価されている。</p> <p>その一方で、農村女性起業においても、母体である生活改善普及グループやJA女性部の活動停滞によるグループ経営体の減少、起業活動に携わる女性の高齢化や300万円未満の経営が半数を占めているための経営零細性が課題として指摘され、農村女性起業活動の継続が懸念されている。</p> <p>本研究では、女性起業の先進事例調査を通じて、農村女性による起業活動の経緯及び現状を明らかにし、上記課題に直面している農村女性起業活動の経営継続性及び継続するための提案について検討することを目的とする。</p>	

質疑・応答(Q & A)

Q：石塚

農村女性起業のグループ経営とはどのような主体による経営のことか。農協の女性部とは違うのか

A：唐

農村女性起業の多くは生活改善普及事業を端にしている。普及事業の過程で農村女性が集まり食品・加工販売を行っていった。農村女性起業の中で JA 女性部による活動は多い。

Q：石塚

先進事例の調査ということでグループ経営と個人経営のどちらを研究対象とするのか

A：唐

可能であればグループ経営と個人経営の両方を調査していきたい。

コメント：石塚

先進事例の調査をする際、成功事例は見つかっても失敗事例は見つかりにくい。特に個人経営体ではその傾向が顕著であると思われる。グループ経営体については JA 女性部で流通・加工・販売をやっているグループとやっていないグループを比較調査するとよいと思う。

Q：辻

富山県の調査の事例としていくつか紹介すると、女性パートナーが、野菜の加工・販売しているケース、PC 操作等の会計処理をしているケース、起業プログラムを受けてから販売部門を設置するケースがあった。個人経営を調査するのであれば息子夫婦の役割との関連も調査するとよいと思う。

A：唐

参考にします。

Q：木暮

本研究の目的は、女性の農業就業を増加への指針を示すことと、若い世代のビジネス成功への助言することのどちらか

A：唐

若い世代のビジネスモデルの展開への助言が目的である。若い女性にとって魅力のある農村になれば、農村全体の女性も増えていくのではないかと思う。

Q：長尾

女性に限らず農村で起業した場合の特徴を把握するために、農村女性起業以外の農村での起業事例を検討する必要があると思う。

A：唐

参考にします。

Q：井元

調査の対象先は考えているか

A：唐

まだです。

コメント：井元

本研究は調査地の選定が重要になると思う。

Q：井元

農業就業率人口における女性の割合が低下している原因は何か。

A：唐

女性の農業就業数の減少には、女性の農業離れや、若い世代の女性参入の現象、高齢化、などが考えられるが、農業就業率人口に占める女性の割合の低下の要因はわからない。

後日返答：唐

農業就業人口とは「農業従事者のうち、主に自営農業に従事した世帯員数」を指すものである。農業就業人口に占める女性の割合が低下する原因として、機械化により男性のみで農作業に従事することが可能になり、女性は「家事・育児など」に専念するケースが多くなったこと、農村地域で他産業の進出や交通手段の発達による女性が他の仕事に就業しやすい環境になったこと、が考えられる。

Q：盛田

農業以外でも経営者が女性である事例が少ないため、農村女性起業を取り扱うことで望む結果が得られるか疑問が残る。6次産業化における女性の果たす役割に着目するのもよいのではないか。

A：参考にします

Q：木暮

農村女性起業に関して廃業数についてはどうなっているか。もし、起業数と廃業数が平衡していれば現状では農村女性起業が持続可能な状態にあると考えることができる。

A：唐

廃業数について把握していない。

後日返答：唐

廃業や失敗事例の調査は有効であると考えられるが、実際の調査では廃業や失敗事例に関する情報の収集は困難だと判断し、現段階では先進事例を調査対象とする予定である。